

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	東北森永乳業株式会社		
事業所の名称	東北森永乳業株式会社 仙台工場		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港1-1-9		
主たる事業	食料品製造業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	東北森永乳業(株)仙台工場は、以下の基本方針に基づき環境管理を推進します。 【基本方針】 限りある資源の有効活用のため、省資源、エネルギー使用の合理化を推進 地球温暖化防止のため、温室効果ガスの排出抑制を推進 環境関連の法令及び、その他要求事項の遵守		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	6,213 t-CO ₂	基準原単位	42.15
		目標年度	2022 年度	目標排出量	6,026 t-CO ₂	目標原単位
			削減率	3.00 %	削減率	3.01 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	6,381 t-CO ₂	排出原単位	46.01
			削減率	-2.71 %	削減率	-9.16 %
	排出量等の増減理由	2020年度生産量が2019年度比94.0%と減少にある事と、2020年4月より生産開始のパウチ製品(ゼリー飲料)が生産初年度と言うこともあり、歩留改善が進まず生産量に反映することが出来ず、エネルギー原単位が悪化したと捉えています。				
	第2年度	2021 年度	排出量	6,046 t-CO ₂	排出原単位	45.29
			削減率	2.68 %	削減率	-7.45 %
	排出量等の増減理由	2021年9月より購入電力の15%を再生可能エネルギーとした事により、CO ₂ 排出量の削減に貢献できた。しかし、2021年度生産量が基準年度比90.6%と、原単位に貢献できるパック製品(牛乳、清涼飲料)の落ち込みが大きく(2020年度比 92%)原単位の大きな改善とまではいかなかった。				
	第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
		削減率	%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	75 %	目標年度	89 %
	第1年度	92 %	実施状況の説明等	高効率照明については予算の関係上、積極的に進んでいないが導入は進めている。一部ポンプのインバータ化も進めている。
	第2年度	96 %	実施状況の説明等	空調用チラー冷凍機コンデンサー(水冷式)洗浄 製品冷蔵庫ユニットクーラー洗浄 夏季デマンド対応のため1,550kW超で生産ライン一時停止
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	デマンド管理		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	蒸気トラップの管理		一部実施済
	圧縮空気系統の保全管理		一部実施済
	その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容
環境マネジメントシステムの導入		ISO14001認証取得	実施済
廃棄物削減対策の実施		ISO14001認証取得と合わせて廃棄物のリサイクル化推進	実施済
計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減		高効率照明の導入 照明器具の5割以上は高効率化	実施済
計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減		排水処理場曝気ブローアをルーツ型からターボ型へ更新(空気軸受式)	実施済
計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減		蒸気ボイラー更新	実施済